

監督◆インタビュー

監督

ランコ ポポヴィッチ

RANKO POPOVIC

プロフィールは
こちらをクリック!**--仙台戦の翌日にはクラブゼルビスタ会員方々向けの練習公開がありました。**

「この場を借りて、お越しいただいた方々に感謝の気持ちを伝えさせて下さい。ありがとうございました。我々はファン、サポーターの皆様がいてこそ、成り立つ仕事ですから、ファン、サポーターの存在は非常に大きなものです。現在はコロナ禍で私自身、人と人の距離がどんどん遠ざかっていくことに危機感を覚えています。サッカーの醍醐味は、皆様との距離の近さであるとも思っています。距離を縮めて、一体感を持って戦うことがサッカーの醍醐味ですが、それが少しずつ薄れつつあります。ここ1、2年いろいろな規制が掛かり、応援は拍手だけになり、声が出せない状況ですが、それが解除された時に、以前よりもパワーやエネルギーをもって、チームを鼓舞して下さい。それまでは辛抱の時間かもしれません。いずれにせよ、次はホームゲームです。また皆様の大きな拍手で我々に力を貸して下さい」

--今季初めて中3日での連戦になります。連戦を戦う上でのポイントは？

「人生で初めて中3日でプレーするわけではないですし、直近の2シーズンも連戦はありましたから、連戦を戦う上での経験値は備わっています。仙台戦も今季初めて土曜日に試合をしましたが、問題はありませんでしたよね。中3日であろうと、週末の試合であろうと、やるべきことは変わりません」

--このチームは連戦下でもタフにインテンシティー高く戦える自信があると。

「相手がいることなので、いつも全てがうまくいくとは思っていませんが、インテンシティーの高い試合にトライしたいと思います。力をセーブすることは相手に隙を見せることに繋がりますから、我々のインテンシティーで戦うことを追求したいと思います。頭の中の整理をして、覚悟を持って試合に臨みます」

--大宮の印象は？

「順位表を見て戦ってはいけません。大宮さんは順位表の立場と試合内容が比例していません。試合を見ても、瞬間的に非常にレベルの高いプレーを見せています。ワンタッチでスピーディーにゴールに迫ることができずし、横浜FC戦のゴールは素晴らしかったと思います。あのゴールは、今季のJ2で最も美しいゴールの1つだと思っています。みんなが関わり、コレクティブなゴールでした。首位の横浜FCを相手にああいっぱいゴールを決められるわけですから、力がないとできないことです。前節の岡山戦を見ても、GKが2人怪我でピッチを去り、67分からフィールドプレーヤーがGKを務めました。そこからアディショナルタイムまで、シュートを打たせていないことも事実です。それによって彼らの力は十分に証明されています。自分たちが出すべきものを出さないといけない試合です。リアクションに回ると苦しいのは我々です。全ての局面で一歩でも強く、一歩でも早くプレーをすることが、相手の土俵で戦わないための重要なポイントです」

FC MACHIDA ZELVIA Official MATCHDAY PROGRAM DIGITAL

FC町田ゼルビアと、共に。
CLUB
ZELVISTAシーズンシート
クラブゼルビスタ2022
会員募集中!